

スマート農業を実現するクラウドサービス「EyeFarm Cloud」の顧客満足度向上を目指し、サービス開発プロセスやUI/UX設計プロセス等を抜本的に見直す計画を策定。

| | | | | | |
|-------------------|---------------------|------|-----------------|---|---|
| 株式会社ニッポー 島根工場 | | | | https://www.nippo-co.com/ | |
| 本社所在地 (事業所所在地) | 埼玉県川口市 (島根県奥出雲町) | 資本金 | 10,000万円 | 事業概要 | 温度・湿度調節器の製造、マイクロコンピュータ応用製品開発、超音波加湿器・洗浄機の製造、その他電子機器の開発・製造・販売 |
| 代表者名 | 若槻憲一 | 従業員数 | 108名(2023年8月時点) | | |
| 設立年 | 1964年 | 業種 | 製造業 | 地域未来牽引企業 | |

背景

- 当社では「スマート農業」を実現するためのサービスとして EyeFarm Cloud (アイファーム・クラウド) を提供しているが、顧客満足度を高めていくために、画面のデザインを改善する必要があると課題認識していた。
- 画面デザインを継続的に改善していくために、UI/UXを設計するプロセスを見直したい意向があった。
- UI/UXの設計プロセスの見直しに伴い、サービス開発そのものの体制や在り方も見直す必要性を感じていた。
- さらに、写真や動画といった画像データを遠隔から収集出来る機能を付加することを検討しており、それに伴い通信手段も見直す必要があった。

計画の骨子

サービス開発体制及び開発方法の見直し

- ▶ 利用者からのフィードバックなどに対応してユーザー画面を効率的に改善していくために、開発体制の見直しを行うとともに、フロントエンド開発とバックエンド開発の完全分離を図る開発方法を新たに採用

技術者の育成を計画

- ▶ UI/UXのデザインプロセスに必要なとされるスキルに対して、当社に足りないスキルを補うべく、UI/UX技術者の育成を計画

付加価値向上に向けた施策検討

- ▶ 新たな顧客拡大に向けて、取り扱えるデータの種類や量を増やすことを想定しており、それに耐えうる通信関連技術の情報を収集
- ▶ 通信技術について、当社内の標準化に取り組む計画を策定